

「熊本地震」で被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。そして、今後の復旧の対応につきましては弛まぬ努力に励みますので町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

さて、今回の震災を受けて町役場庁舎が使用不能になりました。庁舎機能を一時期、町交流施設（オークスプラザ）や、役場電算室などに分散移転します。一日も早く本来の事業サービスを町民の皆様にご提供できるよう業務に努めるため、プレハブ仮庁舎を役場南側駐車場に設置し、6月中旬より業務を開始します。その間、ご不便おかけしますがご理解とご協力をお願いします。

復旧に関して、区長をはじめ消防団、地域の皆様には感謝を申し上げます。今後についても、地域をあげてご協力をお願いいたします。健康に十分注意して一緒に頑張りましょう。

大津町長 家入 勲



1消防団も地域の防犯パトロールなどで協力2庁舎移転に伴い瓦礫の中で作業する職員3庁舎に残された時計は本震の時間で止まっている4家の下石垣が崩れています5瀬田神社は落石を受けて倒壊6町を見下ろすと青い屋根が目立ちます7災害対策本部では日夜会議が行われています8自衛隊の統率された動き9国指定重要文化財 江藤家住宅も被害を受けました10図書館は復旧のための作業中11全国から集まった支援物資は集配センターを埋め尽くしています

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報 おおづ 5

MAY 2016
臨時号

今月の表紙

4月23日の町民交流施設（オークスプラザ）グラウンドでの一コマ。炊き出しはカレー。ボランティアの人たちは避難者のために額に汗をにじませていました。

平成28年熊本地震

4月14日の午後9時26分、震度5強の前震、16日の午前1時25分には震度6強の本震が町に大きな被害をもたらしました。

この地震は「熊本地震」と名づけられ、熊本県内の広い範囲で大きな爪あとを残しています。

避難勧告が発表され、一時期は町指定避難所・自主避難所あわせた73カ所に13,000人を超える避難者が集まりました。

避難者の中には自宅の倒壊や落下物の不安などで夜を車の中で過ごす人もいました。

▼被災された皆さんにお見舞いを申し上げます▼14日の前震では仕事を終えて駅から家に歩いていく途中でした。すぐに役場に帰り避難所の設営に入り、本震は避難所で迎えました。朝まで一触即発。一瞬での判断の繰り返しでした。緊張から寝ることもできず、不注意から怪我もしました。本当に貴重な体験でした。皆さんの日常を取り戻すために今後も努めます▼警察署から空き巣などの注意喚起がきております。戸締りを徹底し、不審者に注意してください（IDEO）

からいもくん便り

大津町総合情報メール

携帯電話やパソコンのメール機能を活用して、生活に役立つさまざまな情報をお知らせするシステムです。



QRコード

登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jpに空メールを送信してください（スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信）。